

約18%の養豚農家エコフィードを利用しており、約25%の養豚農家が利用を検討している。
 エコフィードの原料としては、パン類、ご飯類、麺類、などのでん粉質を多く含む原料が多く利用されている。
 現在エコフィードを利用している者のうち27%の者が乾熱乾燥された加工済みエコフィードの利用を希望している。
 未利用者がエコフィードを利用しない理由としては、安全性、品質、安定供給、肉質等への不安が上位に上げられている。
 一方、「原料を加工する労働力が少ない」が第5位(33%)であることから、安全性と品質を確保した加工済みエコフィードを、安定供給することにより、利用者が拡大する可能性が示唆される。

エコフィードの利用状況

単位: %

	H13	H15	H17	H18
利用している	15.5	12.1	20.0	18.4
現状維持・規模拡大	14.4	9.9	18.7	17.6
規模縮小・中止等	1.1	2.2	1.3	0.8
利用していない	84.5	87.9	80.0	81.6
利用を検討	14.1	18.4	18.5	25.0
利用予定無し	70.4	69.5	61.5	56.6

エコフィード利用者の原料入手状況

(エコフィード利用者、複数回答) 単位: %

順位	品目	割合
1	パン類	60.2
2	ご飯、米加工品	49.4
3	麺類、麦加工品	30.0
4	野菜、果実、果実ジュース類	25.8
5	食品製造粕類	23.3
6	魚、水産加工品	17.3
7	和菓子、洋菓子、ケーキ、ビスケット、煎餅など菓子類	16.7

入手・利用を希望する原料

(エコフィード利用者、複数回答) 単位: %

順位	品目	割合
1	パン類	53.7
2	ご飯、米加工品	38.7
3	麺類、麦加工品	28.3
4	加熱乾燥(加工)されたりサイクル飼料	27.3
5	食品製造粕類	21.1
6	野菜、果実、果実ジュース類	20.7
7	魚、水産加工品	15.4

エコフィードを利用しない理由

(エコフィード未利用者、複数回答) 単位: %

順位	品目	割合
1	原材料や加工された飼料が安全性の面で不安	39.1
2	原材料の品質が栄養面で不安定	37.8
3	原材料のまとまった入手が困難	37.7
4	肉質低下がある	33.3
5	原材料を加工する労働力が少ない	32.5
6	運搬、乾燥などの経費が必要で、経済的にさほど安くない	24.7
7	イメージによる豚肉消費低下の恐れ	18.5

資料: (社)日本養豚協会 養豚基礎調査
 調査対象数5412、回答数4361(全体回収率80.6%)